

護照 清国外務部 明治 39 年(1906) 9 月 11 日発行



明治 39 年 10 月の岡倉天心の第 2 回中国旅行に同行した折り中国(当時清)政府から発行された護照(旅券)。護照の記載から早崎稔吉が東京美術学校特派考察學術委員として渡っていることがわかる。護照には中国国内を旅行するにあたっての通行許可やその保護を地方官に指示する内容が記されている。明治 26 年の天心による『支那旅行日誌』には「潼関(どうかん)後門ニテ護照ヲ求められる 示して関を出ツ」とあり、中国旅行にあたって護照がいかに大切であるかが伺える。

光緒 32 年は中国の暦で、明治 39 年にあたる。